

■施工される方へのお願い

- 取付け前に必ず本説明書をお読みください。
- 本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。
- ▲**注意** …取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険および物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- シャッター本体の脱落や変形による作動不良・雨漏りの原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・本製品は木造用です。躯体が木造であることを確認してください。
- ・シャッター本体は必ず外壁仕上げ前に直接構造体に取り付けてください。
- ・付け柱をまぐさ上部のブラケット(シャッター取付け用)取付け部に取り付けてください。付け柱がないとブラケットの固定ができません。
- ・ブラケット取付け面が平面であることを確認してください。
- 雨漏りの原因になるおそれがありますので下記事項をお守りください。
- ・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。(右図参照)
- ・下枠前面の水抜き穴は、モルタル等でふさがらないでください。

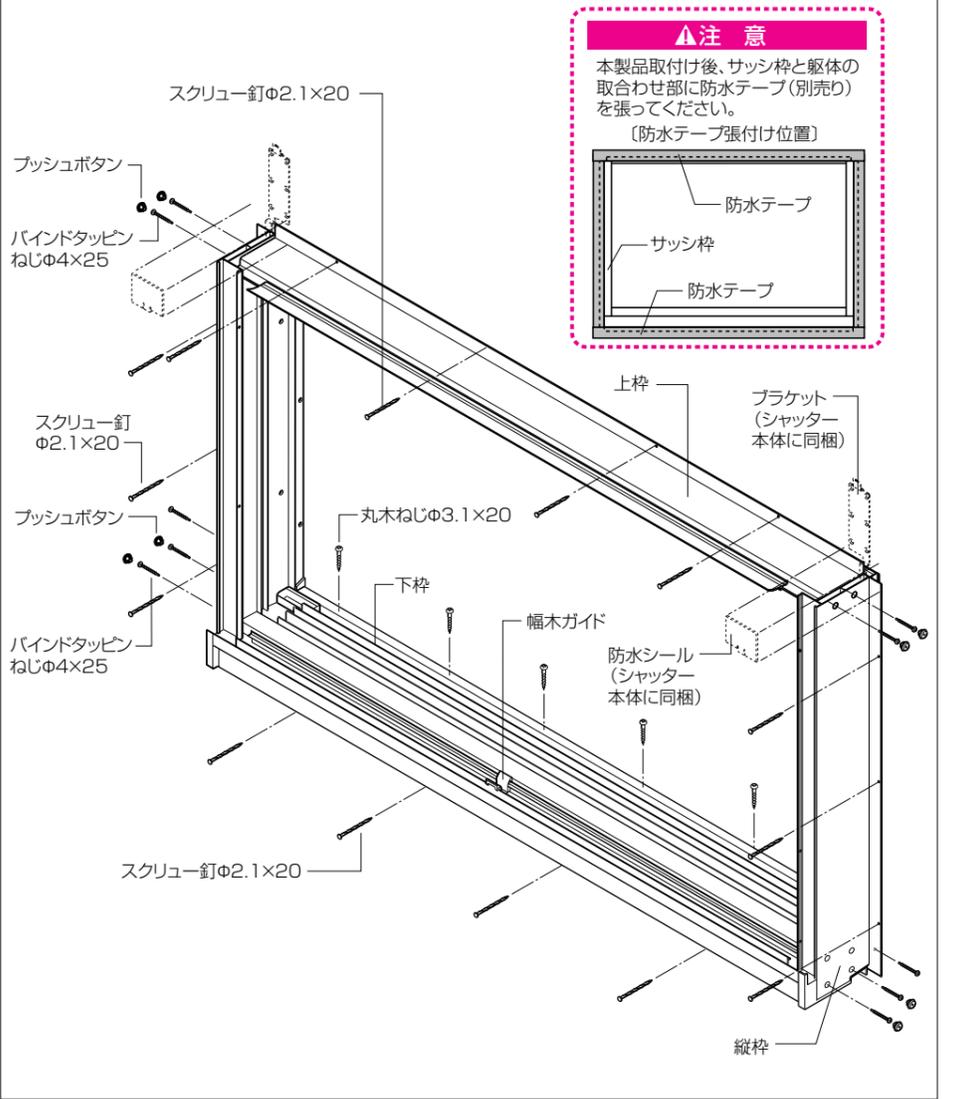
■施工上のお願い

- 本製品のうち、サッシ枠の組立ておよび取付けは、一般サッシを施工される方が行ってください。サッシ枠の組立て・取付けはシャッター(電動)の施工範囲には含まれません。
- サッシ枠の水平・垂直を正確に出してください。特に下枠の上下の反りがないようにしてください。取付け精度が悪いとシャッター作動不良の原因になり、製品の取付けや外装工事などをやり直すおそれがあります。
- モルタル施工の際、ガイドレール・下枠にモルタルが付着しないように指導してください。
- モルタル剥離剤はアルミ表面を傷めますので使用しないように指導してください。
- シャッター本体部分の組立て・取付けについては本体同梱の取付け説明書をご覧ください。

■使用部品・ねじ一覧表

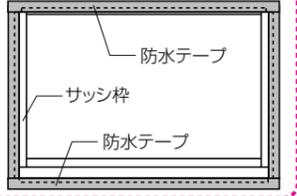
バインドタッピン ねじφ4×25	プッシュボタン	スクリュー釘 φ2.1×20	皿木ねじ φ3.1×20	皿木ねじ φ3.8×38	丸木ねじ φ3.1×20

■構成図



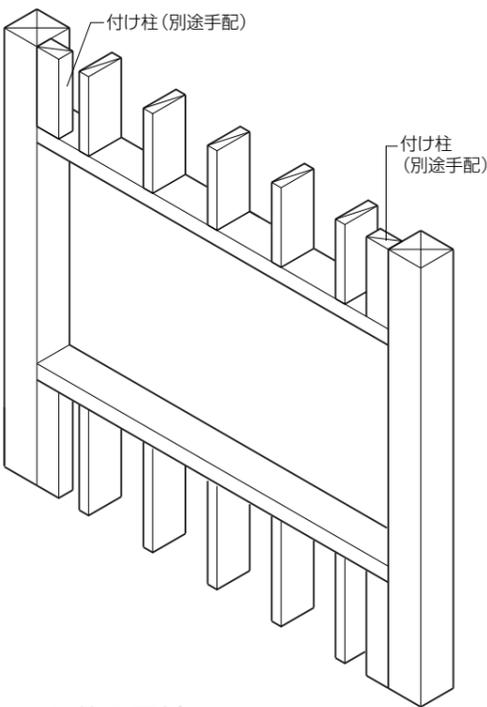
▲注意

本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。
〔防水テープ張付け位置〕

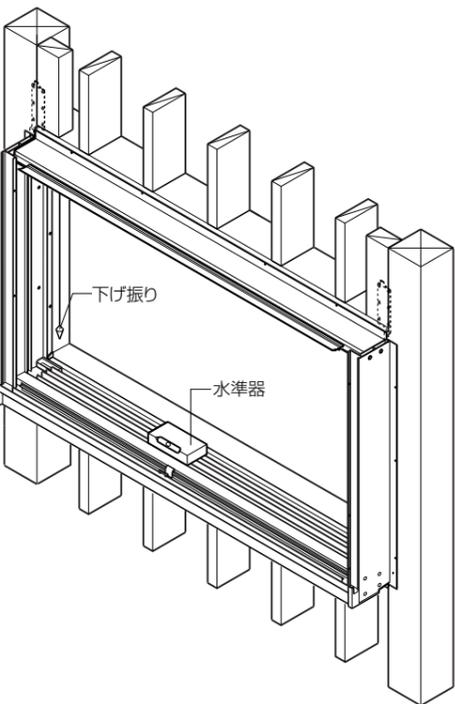


■取付け手順

1 付け柱の取付け



2 サッシ枠の取付け



■取付け詳細

1 付け柱の取付け

- まぐさ上部の左右に、付け柱を取り付けます。

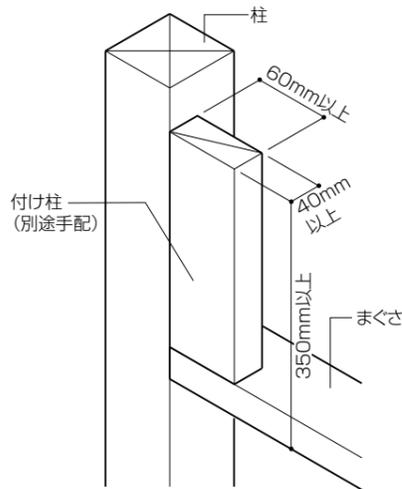
▲注意

- 付け柱を取り付けないとブラケットが確実に固定できず、本体の脱落・変形による作動不良の原因になります。
- ブラケット取付け面が平面であることを確認してください。平面になっていないところにブラケットを取り付けると本体が確実に取り付けず雨漏りの原因になります。

※柱寸法に合わせて、ブラケットが固定できる付け柱を取り付けます。

※柱と付け柱は室外側を面一にしてください。

※ブラケットは、シャッター本体に同梱されています。



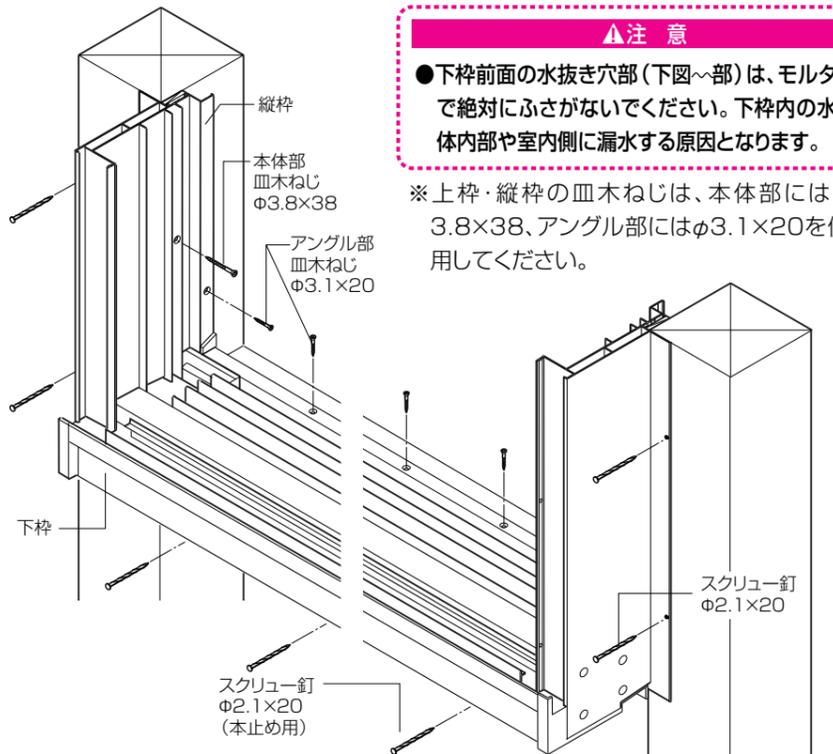
2 サッシ枠の取付け

- ①サッシ枠の取付け位置を決め、上枠を仮止めします。
- ②水準器・下げ振り等で、上枠・縦枠の水平・垂直を出して本止めします。
※縦枠にたおれのある場合は、かい物等で調整してください。
- ③水準器等で下枠の水平を出して本止めします。
※上下に反りのある場合は、かい物等で調整してください。シャッター作動不良の原因となります。
- ④サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ります。
※下枠の室外側をデッキ納まり等で仕上げる場合、デッキ上面をサッシ下枠上面より上げないでください。

▲注意

●下枠前面の水抜き穴部(下図~部)は、モルタル等で絶対にふさがらないでください。下枠内の水が躯体内部や室内側に漏水する原因となります。

※上枠・縦枠の皿木ねじは、本体部にはφ3.8×38、アングル部にはφ3.1×20を使用してください。



■納まり図

